



# 鶴望野 だより

## 2020年 第138号

発行元：社会医療法人長門英記念会 介護老人保健施設 鶴望野 〒876-0835 大分県佐伯市鶴岡町1丁目11番59号

### 謹賀新年



明けましておめでとうございます。今年も元日はとりわけ好天に恵まれましたが世界の情勢は、気になる一年になりそうです。

それに引き替え、わが鶴望野は年末年始も平穩無事に過ごせましたし良い年となる様になります。

昨年はちょうど年明けの今頃、我が国のメディアの世界で、私たち施設の関係者にとって容易ならざる終末医療に関する話題が取り上げられました。「人生最後の1か月の延命治療はやめませんか」という論文でした。若冠三十代の二人の論客が医療経済に言及した論文で世間を騒がせたのです。

さすがに我が国の知識層の反応は、この根拠とする、エビデンスに大きな誤謬を指摘して、この若い二人の対談を、あまり高く評価しませんでした。

一般に人の亡くなる前の1か月の医療費は全医療費の三%に過ぎないそうです。

超高齢化社会を迎えた、我が国では、こうした短絡的な医療問題や高齢者の生活に対して誤った取り上げ方が、横行するかもしれません。

「たゞえ一分でも人の命は承らえるために全力を尽くすのが原則」の医療が医の呪縛とされる時代が来るかもしれません。

どんな時代が来ようとも、私たちは静かに眠るがごとく人生の終焉をお迎えになるように多くの高齢者を大切に介護する、という奉仕に徹しようと思っております。



令和二年 元旦  
介護老人保健施設 鶴望野  
施設長 松下 哲一郎



### 正月行事



今年もお正月行事として餅つきと獅子舞を行いました。餅つきは12月28日(土)に獅子舞は年が明け1月8日(水)にそれぞれ行って皆さんにお正月気分を味わって頂けたかと思えます。例年であればお正月はこの2つの行事のみなのですが、今年はしめ縄作りも12月26日に行いました。

無事にしめ縄を作れるか心配でしたが、利用者様の中には、昔しめ縄を作っていたという方もあり、手際よく編んでくれました。編んだしめ縄に、扇や松ぼっくり、水引き等を飾り付けて完成です。皆さんには例年よりお正月気分をより感じて貰えたかと思えます。

### 職員紹介



9月から勤務させて頂いている坂下法子です。

#### 言語聴覚士 坂下法子

食べる幸せ、人と繋がる会話の喜びを少しでも多くの人に提供出来たら幸いです。楽しく笑顔で頑張ります!!

#### 理学療法士 大鶴万智

育児休暇を終え10月下旬より復帰した理学療法士の大鶴万智と申します。初めての老人保健施設勤務で色々不慣れな点もありますが一生懸命頑張っています。

#### 介護福祉士 高野史子

ケアタウンより1月6日付けで鶴望野に配属されました高野史子です。不慣れな点が多く迷惑をお掛けしますが宜しくお願い致します。

### お知らせ

・面会について

新年を迎え、大分県下でもインフルエンザが発生してきています。面会の際には、マスク等でご予防頂くか、体調を崩している御家族様でしたら、面会を極力控えて頂くようにご協力の程宜しくお願い致します。マスク等につきましては、玄関、2階・3階に常備しておりますので、ご使用ください。

### 行事予定

・ひな祭り

2月吉日



### 後編集

→明けまして、おめでとうございます。今年の子年です。「子」は、繁殖する・うむという意味を持つ「孳」という字からきており、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表しているといわれているようです。その為、新しい物事や運気のサイクルが始まる年になると考えられています。子年にちなんで新たな挑戦が出来ないかを考えてみるのもよさそうですね。 Y・Y